

■「効果の見える治水事業」

香川県 大内ダム堰堤改良事業

『堰堤改良事業 大内ダム管理設備工事・
大内ダム洪水吐ゲート設備等改良工事』

香川県長尾土木事務所長 三好 正明



● 大内ダムの概要

- ①目的 洪水調節、流水の正常な機能の維持、水道用水（東かがわ市）
- ②経過 昭和39年着工、昭和42年3月竣工
- ③位置 東かがわ市水主
- ④河川名 二級河川 与田川水系 様松川
- ⑤諸元 重力式コンクリートダム
堤高：26.0m 堤体積：25,275m³
総貯水容量：1,000千m³
集水面積：3.2km²



● 事業の内容

- 全体事業費 437百万円
事業期間 平成24年度～平成26年度
工事概要
・ダム管理用制御処理設備改良
・テレメータ・放流警報設備改良
・放流設備改良
・洪水吐ゲート等設備改良

● 事業の必要性・効果

大内ダムでは、定期点検・部品更新等によって適正な管理に努めてきましたが、設備の老朽化に伴う障害発生件数の増加や、部品の大半が製造中止（保守終息品）となっていることが問題とされてきました。さらに、既設設備の多くは二重化されておらず、不測の事態が生じた場合にダム施設及び下流への影響が深刻となる懸念があることから、ダム管理の適正化及び安全性の向上を図るために平成24年度から平成26年度にかけて堰堤改良事業を実施してきました。

ダム機能の安全性の確保として、主流放流設備の開閉装置における予備動力装置の新設及び開度計の二重化（副開度計の新設）、ゲート操作系統を二系統化したことによって、一方に不具合が生じた場合でも、もう一方の装置で確実な動作が可能となりました。

また、管理用制御処理設備において、訓練機能の追加や操作手順をガイド化することにより、システムの操作がわかりやすく、安全で確実かつ円滑に操作でき、操作員の負担を軽減できる設備へと改良がなされました。



■心やすらぐ潤いのある川を目指して

「与田川流域水環境保全推進協議会」の活動について

東かがわ市長 藤井 秀城



東かがわ市は、その名のとおりに香川県の東端、高松市と徳島市のほぼ中間に位置しており、東南は東西に連なる阿讃山脈によって徳島県に接し、西はさぬき市、東北は播磨灘に望む自然環境に恵まれた地域です。

山間部から瀬戸内海に注ぐ中小河川の流域に平野部が開け、市街地と田園を形成しており、市域面積約153km²のうち山林と平地の比率は、ほぼ7：3となっています。

このたび、二級河川与田川水系様松川の大内ダムにおいて、堰堤改良事業により管理設備工事や洪水吐ゲート設備等の改良工事が実施され、ダム機能の安全性能向上と一層の適正管理が可能となり、より確実な流域市民の安全安心が実現されました。

大内ダムのある様松川の本川にあたる与田川流域では、平成18年に水環境に共通の認識を持ち協働して特色ある水環境づくりを推進するため、流域自治会、水利関係団体、ボランティア団体、学校、香川県及び市によって組織する「与田川流域水環境保全推進協議会」を発足させました。

協議会の活動実績としては、小学生による水生生物調査などの「水質調査活動」、沿川の全自治会800人余りが参加する一斉ボランティア清掃や流域にある小中学校の児童生徒約600人による「河川美化清掃活動」、ボランティア清掃団体の募集、水環境保全推進に関する小学生の絵画及びポスター作品募集を行う「水質保全啓発活動」などを毎年実施しており、地域に親しまれる良質な水環境を将来世代に引き継げるよう、さまざまな施策に積極的に取組んでいます。



水質調査（校外学習）の状況



小学生による水生生物調査



27年度 絵画の部最優秀作品



27年度 ポスターの部最優秀作品



河川一斉清掃（川東地区）